

2019年1月30日

各 位

西武バス株式会社

当社バスが中扉を開けた状態で走行した事象についてのお詫びとお知らせ

この度、お客さまがご乗車された路線バスが中扉を開けた状態で走行した事象が発生いたしました。

当該路線バスにご乗車されたお客さまをはじめ、関係の皆さまに多大なご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今般の事態を厳粛に受け止め、従業員一同、再発防止に向けて全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めてまいります。

本件については関係当局へ報告をおこなっております。なお、本件に伴う事故やお客さまのお怪我はございません。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時

2019年1月29日（火）16時10分頃

2. 当該路線バス

荻14系統 石神井公園駅南口16時05分発 荻窪駅行 乗車人数19名

3. 発生場所

禅定院前バス停～JA東京あおばバス停

4. 発生事象

2019年1月29日16時10分頃、当該路線バスが禅定院前バス停に到着した際、本来運転士の扉開閉操作によって開くはずの中扉が、操作をする前に半開いたしました。運転士が手動で中扉を閉め運行を再開いたしました。発進後、走行中にも再び中扉が半開し、その後JA東京あおばバス停までの約450mを走行いたしました。

5. 原因

ドアの開閉を制御する空気圧のスイッチが切られていたため。

当該路線バスは、中扉の開閉に関わる設備の確認を行い、上記スイッチを入れた後、正常に機能することを確認して運行を再開いたしました。

6. 再発防止策

今般の事態を厳粛に受け止め、出庫前の車両点検の強化と、発進時におけるドア閉め状況の確認等の基本動作の徹底をおこない、再発防止に向けて全力で取り組んでまいります。

以 上